

★ 2年連続の文化祭開催★

※キャプションのない写真は去年の楠祭の様子

第17回楠祭に向けて文化祭実行委員長にインタビュー

5/31（土）に開催される前南の文化祭“楠祭(くすのきさい)”。初の2年連続開催となる今年の楠祭について、その経緯や意気込みなどを文化祭実行委員長の腰高紗依さん(3年)に聞きました。

楽しくも手探りだった去年の文化祭。だからこそ

Q文化祭が2年連続になった経緯を教えてください。

「私達も初めて経験した楠祭でしたが、みんな楽しんでくれたという手応え、盛り上がりがあって、文化祭が終わった後、『来年も開催できたら楽しいよね。したいね』って話が生徒会の中で出ました。生徒会の選挙で(来年度の文化祭開催を)公約で掲げた子もいて。ただ、私達だけで2年連続開催を実現できたわけではなくて、先生方が日程、予算などいろいろ考えてくださったので今があるという感じです。」



Q去年のどういうところが良かったと感じていますか？

「まず有志の皆さんがダンスやバンドですごく盛り上げてくれて、『みんなを楽しませたい!』という熱い気持ちに感激しました。クラス企画でも、一人一人がクラスにきちんと関わって、クラス企画をどう作り上げていってみんなで話し合っ決めて、一人一人から盛り上げようという熱意や意志が見られたところです。希望制の文化祭実行委員もたくさん集まって頑張ってくれて。文化祭ってみんなにとって仲間の大切さを感じられるなど、成長できる良い行事だなって。」



Q実行委員って「自分が楽しむ」というより裏方の仕事ですよね？
「目立たない雑務も多く、正直楽しいと言いづらい瞬間もありますが、そういうのもみんな理解して、裏方として頑張ってみようって思ってくれています。きっと誰かのために動くことが自分の喜びや楽しみになっているのではないかと思います。“縁の下の力もち”ほど、大切な存在はいません。今年も実行委員で手を挙げてくれた人が多く、本当にうれしい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。」

Q一方で去年の文化祭で大変だった点は？

「去年は開催自体が久しぶりで、皆初めてだったので、何をしたいか想像ができずわからなかったところです。他校の文化祭を視察に行っても外から見ただけではどう作り上げたかや運営の仕方など全くわからないし、自分たちが文化祭を開催するってどうすればいいんだろうって。全てが手探りだったところです。」

継承できるメリット

Q2年連続でやるメリットは？

「2年連続だと引き継ぎが楽と感じています。みんな経験しているので、『去年こうやったから今年はこうやってみよう』とか『そのままこれはこうしよう』、『この時期に〇〇をやったよね』とか(理解できている)。これまで、前南の文化祭は3年に一度で、それだと先生も生徒も引き継ぎが難しい状態にあり、2年連続開催になれば生徒が必ず経験しているので引き継ぎしやすい、効率よくやれるということです。中間テスト後という開催時期(今年は5/31 一般公開)で、部活や勉強もやらないといけない中で、少しでも効率よく段取りや仕事を進めていけると思っています。」

Q逆に2年連続開催のデメリットは？

「ずばりお金、予算です。去年より少なくなっている部分もありますが、そこは限られた予算の中でみんなの創意工夫でやるということもいい経験になると思ってもらって、いろいろアイデア考えてもらいたいです。」

Q 2年連続開催が決まってからの思いは？

「まずは“楽しみたい!”と感じました。そして、去年やってわかっているからこそ、“効率よく、うまく進めなくちゃいけない感”っていうプレッシャーが正直あります。経験を活かして少しずつやっている部分もありますが、今年も5月に入って『うわ、これもやらなくちゃいけない』など結局できてない部分も出てくるので、うまく円滑に進められているのかなっていう不安もあります。去年はある意味みんな初めてだ

今年の楠祭ポスター▷



から、手探りで段取り悪いのもしょうがないよねっていうところがあったと思うんです。今年は経験したなりにもっとうまくやりたいという思いと新たなことをやりたいよねという思いもあって。でも、去年より今年の楠祭の方がレベルアップしたと思っていただけるようにみんなで頑張りたいと決意したのを覚えています。」

Q 前回から改善したい点、新たに考えていることは？

「去年クラス企画の投票があったのですが1～3 位に賞状を渡さなくて、今年は渡したいと思っています。また、生徒会企画としてスタンプラリーをやってみようという意見も出ています。インスタ(Instagram)もこの第 17 回楠祭のために開設しました。去年、第16回楠祭をおこなって知ることができた楠祭の良さを残しつつも、さらにより良くなってほしいという願いもあるので、本当にちょっとずつでも変えてみたいなあと思っています。」

第 17 回楠祭 Instagram



前南の良さを発信したい

Q 文化祭用のインスタを開設？

「はい。頑張りました。高崎女子高や沼田女子高(当時、現沼田高)などのインスタを見てすごい面白いな、うらやましいなと思って。こういう活動やってるんだとか、生徒がこんな主体的になって頑張ってるんだっていうのがわかりやすく伝わるため、前南でもやらない手はないなと思って。生徒や生徒会が主体的になって動いている様子や前南生一人一人が輝いている姿を発信したい。多くの人が悩んで、協力して、楠祭が出来上がったんだというのを伝えたい。そんな動機から Instagram 開設に向けて動き出しました。」

Q インスタを開設するにあたっての課題はありましたか？どうクリアしていったのですか？

「先生方は生徒の安全という部分を一番に考えてくださっているので、生徒の顔出しなどの個人情報そして曲の著作権の問題等を助言していただきました。指摘や助言を汲み取って修正や妥協点を考え、新たな提案を先生方に何度かプレゼンし協議していきました。また、前南での運営ルールを作成するため、他校の運営状況の聞き取りをおこないました。」

Q 具体的にはどのような形で運用されることに？

「安全面を考え、顔が認識できる場合にはしっかりモザイクをかけることにしました。他にもいろいろルールを定めています。1 回目の運用ということで、少しでもリスクがあるところは切り捨てることも重要であり、関わる周囲の人たちが納得し、誰も不快にならないように運営していくことも重要だと考えています。」



一日楽しめる企画満載

Q 今年の文化祭の中で、見てほしいところや目玉は？

「目玉ですか？なんでしょうね、たくさんありすぎて…。有志のステージを見てほしいですね。レベルの高い文化部の発表も期待してほしい。あと、文化祭の『シンボル』ですね。担当を中心に今頑張ってる作り始めていて、この後全校生徒で作ろうって企画していて、本当に今ギリギリになっちゃってるんですけど。」

Q 「完成を楽しみにしててください」ってことでいいですか？

本番までに完成しなかったら、『“前南のサクラダファミリア”です、“我々前南生は未完成これからです！”』ってことでね。「そうですね、それいいですね(笑)。あと、個性豊かなクラス企画にも注目です！そうそう、キッチンカーも！ぜひアイスの自動販売機も利用してください！そして、インスタもこまめにチェックしてほしいです。」

Q 5/31 は一日楽しめますよ、ってことですね。最後に楠祭に向けて、前南生にメッセージを。

「いよいよ楠祭が近づいてきました。楠祭は皆さん一人一人の意見や行動が積み重なって、少しずつ形になっています。どんな小さなアイデアや働きかけも必ず楠祭をより良いものにしてくれます。だからこそ『自分なんて…』と思わずに、自分から発信をしてみてください。一人一人が主役です。そして何より、皆さんが一番楽しむことを忘れずに！楠祭と一緒に盛り上げていきましょう！！」

5/31(土)第 17 回楠祭

あと 15 日！

水球部招待試合あり！きれいになったプールに注目！



9～15 時(入場は 14 時 30 分まで) ★前橋駅南口より無料シャトルバスの運行あり

★校長より★ 昨年度、7 年ぶりの来校者を入れての楠祭が行われました。インタビューにもあるとおり、ゼロから作り上げる形となり、たいへんな苦労があったかと思います。そこから、2 年連続の楠祭実施に向け、生徒会本部、実行委員が中心となりここまで進めてきてくれました。ここからは、生徒会の会員、つまり全校生徒が作り上げる楠祭になります。全校生徒が楠祭の主催者です。来校されるすべてのお客様に安全に気持ちよく楽しんでもらうために、自ら考え、判断し、行動してください。(校長 原 拓史)